

第4章 消防用設備等又は特殊消防用設備等の届出書等について

第1 工事整備対象設備等着工届出書、消防用設備等工事計画書、消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書、消防用設備等特例適用申請書の添付書類等

1 工事整備対象設備等着工届出書

(1) 共通事項

ア 届出日等

法第17条の14の規定に基づく届出は、工事整備対象設備等の新設・増設・移設する場合にあっては設備ごとに次のイに定める基準日の、変更する場合にあっては変更工事を行おうとする日の、それぞれ、10日前までに行うこと。◆

また、届出時に工事整備対象設備等の詳細な計画が確定していない場合は、その時点における一応の添付図書を提出し、計画が決定した段階で差し替え等を行って差し支えないこと。

イ 基準日（法第17条の14に定める「工事に着手しようとする日」）は、次によること。

(ア) 消火設備

各設備の配管（各種ヘッド、ノズル等を直接取り付ける配管を除く。）の接続工事又は加圧送水装置等の設置工事をしようとする日とする。

(イ) 警報設備

警報設備の受信機の設置工事を行おうとする日とする。

ただし、受信機の設置工事が伴わない場合は、感知器又は検知器の設置を行おうとする日とする。

(ウ) 避難器具

避難器具の取り付け金具の設置に係る工事を行おうとする日とする。

(エ) 必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等

a パッケージ型消火設備

パッケージ型消火設備の格納箱の取り付け工事を行おうとする日とする。

b パッケージ型自動消火設備

パッケージ型自動消火設備の放出導管（放出口を直接取り付ける放出導管を除く。）の接続工事を行おうとする日とする。

ウ 添付図書

添付書類は折り上げで日本産業規格A4を原則とする。また、図書の縮尺については、100分の1を原則とするが、その目的が達成される場合にあってはこの限りでない。

エ 届出の単位

届出は、防火対象物又は製造所、貯蔵所若しくは取扱所（以下「製造所等」という。）に設置する事業所ごとに行って差し支えないものとする。

(2) 提出方法

提出方法について次のとおりとする。（以下、第2消防用設備等又は特殊消防用設備等の届出等に関する運用基準3において同じ）

ア 消防署所の窓口（郵送も含む。）

イ 電子申請

(3) 添付図書

法第 17 条の 14 の規定に基づく工事整備対象設備等の着工届出（以下「着工届」という。）の添付図書及び記載要領等については、**第 1－1 表**によること。

(4) 留意事項

ア 着工届に添付する図書については、届出者に過度の負担となるような図書の添付を要求しないこと。

イ 消防同意時等、消防用設備等の設計に関する図書等が提出され、着工届提出の時点で設計内容に変更がなく、そのまま活用できるものは、当該図書等で着工届の添付図書等に替えることができる。この場合、活用する添付図書等については、どの添付図書を使用するのかを明確にし、着工届にその旨を明記すること。

ウ 製造所等に設置される消防用設備等に係る着工の届出については、製造所等の設置又は変更の許可申請において、既に（2）に掲げる添付図書と同一の図書が提出されている場合には、当該添付図書を着工届に添付しないこととして差し支えないこと。

エ 2 以上の異なる消火設備等で、加圧送水装置や配管などを兼用する場合にあっては、当該部分の重複する添付図書は、省略して差し支えないこと。

ただし、併設・兼用する旨を記載し、それらの設備の配置・構成・接続状況等を具体的に明記すること。

オ 非常電源に係る図書にあっては、条例第 46 条に基づく「火を使用する設備等の設置の届出」に当該図書が添付されている場合には、重複する部分については省略することができること。

カ 部分的な改修等の場合にあっては、当該改修等の内容が把握できる範囲の図書で足りること。

第 1 - 1 表

	設備の種類	添付書類	記載要領等
消 火 設 備	屋内消火栓設備	1 防火対象物の概要表 (別記様式1)	(1)「断面図等」には、居室、天井の構造が立体的なものについてのみ、ヘッド、配管等の設置状況について明記すること。
	スプリンクラー設備	2 設備の概要表 (別記様式2・3)	(2)「配管系統図」には、配管摩擦損失計算書の基礎となる使用管長、管継手、弁等を明記すること。 なお、平面配管系統図は、平面図に記載することができる。
	水噴霧消火設備	3 平面図及び断面図等	(3)「配線系統図及び展開図」には、作動順序を示す接続の状況を明記すること。感知器等と連動した自動起動方式及び予作動式のスプリンクラー設備は、連動の系統等、信号系統を明記した図書を添付すること。
	泡消火設備	4 配管系統図	(4)「使用機器図」には、加圧送水装置、起動装置、自動警報装置、自動火災感知装置、ヘッド、ノズル、ホース等個々の機器の詳細を明記すること。 なお、第5章第2屋内消火栓設備1(1)イ(ア)による認定に適合したものにあつては、ポンプ試験成績表及び加圧送水装置等の銘板の写しを添付すること。
	屋外消火栓設備	5 配線系統図及び展開図	
		6 仕様書及び計算書	
		7 総合操作盤に関する図書 (泡消火設備については移動式を除く)	
		8 使用機器図	
		9 総合操作盤の概要表 (別記様式9)	
	不活性ガス消火設備	1 防火対象物の概要表 (別記様式1)	(1)「配管系統図」には、全体系統図のほかに、貯蔵ボンベ室の平面系統図を添付し、起動ボンベ、操作導管、逆止弁、安全装置、容器弁等の系統図を明示すること。
	ハロゲン化物消火設備	2 設備の概要表 (別記様式4)	(2)「自動起動系統図」には、自動起動のもののみ、連動の状態を明示した図面を添付すること。
	粉末消火設備	3 防護区画一覧表	
		4 ダクト系統図	
		5 自動起動系統図	
		6 総合操作盤に関する図書 (移動式を除く)	
		7 総合操作盤の概要表 (別記様式9)	
	非常電源	1 配置図	(1)「配置図」には、次の内容を明記すること。 ア 設置する場所とその周囲(平面図) イ 設置する場所(区画)の構造(室内仕上り表を含む。)、開口部等の位置及び材質 ウ 換気装置(ダクトを含む。)の位置・構造・機器及び配線の位置並びに相互の距離(平面図) エ その他必要な付属設備
		2 構造図	(2)「構造図」には、次の内容を明記すること。 ア 機器の姿図又は外観図。ただし、内容が確認できるカタログ等に代えることができる。 イ 耐震措置に係る内容等
		3 接続図	(3)「接続図」には、次の内容を明記すること。 ア 配線系統図(単線接続図又は三線接続図) イ 作動順序を示すフローチャート ウ 制御回路(インターロック回路を含む。)
		4 仕様書及び計算書	

	設備の種類	添付書類	記載要領等
消 火 設 備	非常電源		<p>(4)「仕様書」は、仕様の記載されたカタログ等に代えることができる。</p> <p>(5)「計算書」には、次の内容を明記すること。</p> <p>ア 発電容量の算定</p> <p>イ 換気量</p> <p>ウ 冷却水量の算定</p> <p>エ 耐震措置</p> <p>(6) 認定品を使用した場合は、認定証書の写し等を添付すること。</p>
警 報 設 備	<p>自動火災報知設備</p> <p>ガス漏れ火災警報設備</p> <p>消防機関へ通報する火災報知設備(火災通報装置)</p>	<p>1 防火対象物等の概要表(別記様式1)</p> <p>2 設備の概要表(別記様式5・6・7)</p> <p>3 断面図</p> <p>4 配線図(電源系統図、設備系統図、設備図)</p> <p>5 総合操作盤に関する図書</p> <p>6 非常電源(別置型に限る。)</p> <p>7 総合操作盤の概要表(別記様式9)</p>	<p>(1)「防火対象物の概要表」については、無窓階該当階の有無及び該当階を明記すること。</p> <p>(2)「自動火災報知設備の概要表」は、次によること。</p> <p>ア 設備の概要を記入する。</p> <p>イ 特殊な施工方法等のため様式に該当項目がない場合は、備考欄に施工方法等の概要を記入する。</p> <p>ウ 音声警報機能付の放送設備を設置し、地区音響装置を省略する場合は、その旨を記入する。</p> <p>(3)「ガス漏れ火災報知設備の概要表」は、次によること。</p> <p>ア 自動火災報知設備の概要表(1)及び(2)に準じ記入する。</p> <p>イ 音声警報装置を放送設備の設置による場合は、音声警報装置欄に概要を記入する。</p> <p>(4)「断面図」には、各室の用途、間仕切壁、開口部の状況等又は建築物の屋根の傾斜、はりの深さ及びはりの間隔、天井の形状を明記すること。</p> <p>(5)「配線図」は、電源系統図、設備系統図、設備図の順とし、次によること。</p> <p>ア 「電源系統図」には、常用電源又は非常電源から消防用設備等に至る配線の概要を明記すること。</p> <p>イ 「設備系統図」には、電線管の口径、配線本数、電線路の立上り・引下げ・警戒区域、受信機、中継器、機器収容箱、副受信機の配置状況を階別、系統別に明記すること。</p> <p>(6)「非常電源」(別置型に限る。)については、消火設備欄の非常電源の例によること。</p>

避難設備	<p>金属製避難はしご (固定式のものに限る。)</p> <p>救助袋</p> <p>緩降機</p>	<p>1 防火対象物の概要表 (別記様式1)</p> <p>2 設備の概要表 (別記様式8)</p> <p>3 配置図</p> <p>4 平面図</p> <p>5 立面図</p> <p>6 避難器具の設計図及び構造計算書</p>	<p>(1)「配置図」には、敷地における建築物の位置、他の建築物との別、建築物の各部分と敷地に接する道路の位置及び幅員を記入する。</p> <p>(2)「平面図」には、設置位置を記入する。</p> <p>(3)「立面図」には、外壁面に設置階から避難階までの動線を記入する。</p> <p>(4)「避難器具の設計図」には、避難器具を取り付ける開口部の詳細、避難器具の取付金具及び取り付ける部分の詳細を記入する。</p> <p>(5)「構造計算書」には、避難器具の取付金具及び取り付ける部分の強度の算出方法を記入する。</p>
必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等	<p>パッケージ型消火設備</p> <p>パッケージ型 自動消火設備</p> <p>共同住宅用 スプリンクラー設備</p> <p>特定駐車場用 泡消火設備</p>	<p>1 防火対象物の概要表 (別記様式1)</p> <p>2 設備の概要表 (別記様式10・11)</p> <p>3 平面図及び断面図等</p> <p>4 配管系統図</p> <p>5 配線系統図及び展開図</p> <p>6 仕様書及び計算書</p> <p>7 総合操作盤に関する図書</p> <p>8 使用機器図</p> <p>9 総合操作盤の概要表 (別記様式9)</p>	<p>消火設備欄を準用する。</p>
	<p>共同住宅用 自動火災報知設備</p> <p>住戸用 自動火災報知設備</p> <p>特定小規模施設用 自動火災報知設備 (平成16年5月31日 消防庁告示第14号に 定めるもの)</p> <p>複合型居住施設用 自動火災報知設備</p>	<p>1 防火対象物等の概要表 (別記様式1)</p> <p>2 設備の概要表 (別記様式5)</p> <p>3 断面図</p> <p>4 配線図(電源系統図、設備系統図、設備図)</p> <p>5 総合操作盤に関する図書</p> <p>6 非常電源(別置型に限る。)</p> <p>7 総合操作盤の概要表 (別記様式9)</p>	<p>警報設備欄を準用のほか、共同住宅用スプリンクラー設備の設置により感知器が省略される部分には、図面にその旨を色別に明記すること。</p>
特殊消防用設備等	<p>特殊消防用設備等</p>	<p>特殊消防用設備等の工事に関する図書、設備等設置維持(法第17条第3項に規定する設備等設置維持計画をいう。以下同じ。)、法第17条の2第2項の認定を受けた者であることを証明する書類</p>	

2 消防用設備等工事計画書

(1) 届出等

法第 17 条第 1 項に定める消防用設備等の工事（政令第 7 条に規定する消火器、簡易消火用具、非常警報器具又は誘導標識の設置に係る工事及び 1 に定める工事を除く。）をしようとする者に対し、工事に着手する日の 10 日前までに「消防用設備等工事計画書」（以下「工事計画書」という。）に工事にかかる設計図書（以下「添付図面」という。）を添えて 1 部提出するよう指導するものとする。

なお、届出時に消防用設備等の詳細な計画が確定していない場合は、その時点における一応の添付書類を提出し、計画が決定した段階で差し替え等を行って差し支えないこと。

ア 工事に着手しようとする日は、次によるものであること。

- (ア) 動力消防ポンプ、連結散水設備、連結送水管、共同住宅用連結送水管、簡易自動消火装置については、各設備の配管（各種ヘッド、ノズル等を直接取り付ける配管を除く。）の取付工事又はポンプの据付工事をしようとする日
- (イ) 漏電火災警報器については、受信機の設置工事をしようとする日
- (ウ) 非常警報設備、共同住宅用非常警報設備については、音響装置又はスピーカーを設置しようとする日
- (エ) 避難器具については、取付金具の設置工事をしようとする日
- (オ) 誘導灯、誘導標識については、本体の取付工事をしようとする日
- (カ) 排煙設備については、風道の取付工事をしようとする日
- (キ) 非常コンセント設備、共同住宅用非常コンセント設備については、配線工事をしようとする日
- (ク) 無線通信補助設備については、漏えい同軸ケーブル等の設置工事をしようとする日
- (ケ) 消防用水については、本体工事をしようとする日

(2) 添付図書

工事計画書の添付図書及び記載要領等については、**第 1－2 表**によること。

(3) 留意事項

次のアからエまでによるほか、1（3）アからカに準じて運用すること。

- ア 屋内消火栓設備と連結送水管の配管を兼用する場合にあっては、屋内消火栓設備の着工届と連結送水管の工事計画書を、同時期に提出すれば重複する部分の図書は省略して差し支えないこと。
- イ 着工届に該当する避難器具（金属製固定避難はしご、救助袋、緩降機）とその他の避難器具が同一防火対象物に併設される場合は、着工届を提出すれば差し支えないこと。
- ウ 自動火災報知設備と連動する放送設備（音声警報によるもの）が設置される場合にあっては、自動火災報知設備の着工届と放送設備の工事計画書を、同時期に提出すれば重複する部分の図書は省略して差し支えないこと。
- エ **第 1－2 表**中における、「使用機器図」は、添付書類 3 の「設備の概要表」で十分に確認できる部分については、省略して差し支えないこと。

第 1 - 2 表

設備の種類	添付書類	記載要領等
動力消防ポンプ設備 消防用水 連結散水設備 連結送水管 共同住宅用連結送水管	1 防火対象物等の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式 13・14・15・16) 3 平面図及び断面図等 4 配管系統図 5 配線系統図及び展開図 6 仕様書及び計算書 7 総合操作盤(選択弁を設けた連結散水設備及び加圧送水装置を設けた連結送水管に限る。)に関する図書 8 使用機器図 9 総合操作盤の概要表(別記様式9)	(1) 第1-1表に掲げる消火設備欄の例によること。 (2) 「連結送水管の試験結果報告書」は、配管耐圧試験欄は空欄とし、消防試験時に行った結果を記載し、後日、届け出ることができる。
非常警報設備 共同住宅用 非常警報設備	1 防火対象物等の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表(外観標準及び回路図を含む。) (別記様式 17・18) 3 平面図 4 配線図(電源系統図、設備系統図、設備図) 5 総合操作盤に関する図書 6 非常電源 7 総合操作盤の概要表 (別記様式9)	「平面図」、「配線図」及び「非常電源」は、第1-1表に掲げる警報設備欄の例によること。
漏電火災警報器	1 防火対象物の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式 19) 3 平面図 4 配線系統図 5 仕様書	(1) 「平面図」には、次の内容を明記すること。 ア 引込線取付点から屋内分電盤までの配線と変流器及び受信機設置位置 イ 音響装置を設置した場所の用途 (2) 「配線系統図」には、次の内容を明記すること。 ア 引込線取付点から分電盤までの単線結線図 イ 操作電源の分岐方法、電源の太さ、開閉器等の容量 (3) 「仕様書」は、漏電火災警報器の概要表又は、級別、型式、製造会社、検定の有無、公称作動電流値、使用電圧、変流器種別、定格電流、定格電圧等を明記すること。ただし、これらの内容が記載されたカタログ等が添付されている場合はこの限りでない。

すべり台 すべり棒 避難ロープ 避難はしご (固定式のものを除く) 避難橋 避難用タラップ	1 防火対象物の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式20) 3 配置図 4 平面図 5 立面図 6 避難器具の設計図及び構造計算書	(1)「配置図」には、敷地内における建築物のい ち、他の建築物との別、建築物の各部分と敷 地に接する道路の位置及び幅員を記入する。 (2)「平面図」には、設置位置を記入する。 (3)「立面図」には、外壁面に設置階から避難 階までの動線を記入する。 (4)「避難器具の設計図」には、避難器具を取り 付ける開口部の詳細、避難器具の取付金 具及び取り付ける部分の詳細を記入する。 (5)「構造計算書」には、避難器具の取付金具 及び取り付ける部分の強度の算出方法を記 入する。
誘導灯 誘導標識	1 防火対象物の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式21) 3 平面図 4 配線系統図 5 仕様書 6 総合操作盤(自動火災報 知設備等から発せられた信 号を受信し、あらかじめ設 定された動作をする誘導灯 に限る。)に関する図書 7 非常電源(別置型に限 る。) 8 総合操作盤の概要表 (別記様式9)	(1)「平面図」には、誘導灯又は誘導標識の設 置位置、誘導灯の区分(A級・B級・C級)等を 明記すること。また、特例が適用された部分に は、その旨の表示をすること。 (2)「配線系統図」には、分電盤等からの電線 の施工方法、種類、太さ及び使用電源等を明 記すること。 (3)「仕様書」は、仕様の記載されたカタログ等 に代えることができる。 告示第5第3号(4)に規定する高輝度蓄光 式誘導標識のうち、告示に適合しているものと して、総務大臣又は消防庁長官が登録した登 録機関の認定を受けた旨の表示が付されてい るものにあつては、仕様書(パンフレット等) 等。 (4)「非常電源」は、第1-1表、消火設備欄の 非常電源の例によること。
排煙設備	1 防火対象物の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式22) 3 平面図 4 ダクト系統図 5 配線図 6 仕様書及び計算書 7 総合操作盤に関する図書 8 非常電源 9 総合操作盤の概要表(別 記様式9)	(1)「平面図」には、排煙区域、空気流入口、排 煙口及び手動起動装置の位置を明記するこ と。 (2)「ダクト系統図」には、階別の平面系統及び 立面系統を明記すること。ただし、平面系統に ついては、平面図に明記することできる。 (3)「配線図」には、分電盤からの配線方法、使 用電源及び工事方法等を明記すること。 (4)「仕様書」には、設備の概要及び使用機材 の機能、構造等を明記すること。 (5)「非常電源」については、第1-1表消火設 備欄の非常電源の例によること。

<p>非常コンセント設備 共同住宅用非常コンセント設備</p>	<p>1 防火対象物等の概要 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式23) 3 平面図 4 立面図 5 配線系統図 6 仕様書 7 総合操作盤に関する図書 8 非常電源 9 総合操作盤の概要表 (別記様式9)</p>	<p>(1)「平面図」には、設置位置を明記する。 (2)「立面図」には、次の内容を明記すること。 ア 設置する場所の断面図 イ 箱体の立面図 (3)「配線系統図」には、次の内容を明記すること。 ア 常用及び非常電源の配線 イ 開閉器等の位置、種類、容量等 (4)「仕様書」は、仕様の記載されたカタログ等に代えることができる。 (5)「非常電源」については、第1-1表消火設備欄の非常電源の例によること。</p>
<p>無線通信補助設備</p>	<p>1 防火対象物等の概要表 (別記様式1) 2 設備の概要表 (別記様式24) 3 平面図 4 配線系統図 5 総合操作盤(増幅器を設ける場合に限る。)に関する図書 6 使用機器図 7 総合操作盤の概要表 (別記様式9)</p>	<p>(1)「平面図」には、設備平面図と兼ねることができ、設備系統を構成する機器、電線等を平面的に明記すること。 (2)「配線系統図」は、電源系統図、設備系統図、設備平面図の順とすること。 (3)「総合操作盤(増幅器を設ける場合に限る。)に関する図書」には、次の内容を明記すること。 ア 設備系統図は、配線の立ち上がり・引き下げ及び機器の配置状況等について、系統別に明記し、各機器(構成部品)における損失・利得及び輻射レベルを併記すること。 イ 設備平面図には、設備系統を構成する機器、配線等を平面的に明記すること。 (4)「使用機器図」には、保護箱、混合器、分配器、空中線等の各機器の姿図、展開図、仕様等を明記すること。</p>
<p>簡易自動消火装置</p>	<p>1 防火対象物の概要表 2 設備の概要表 (別記様式25) 3 平面図 4 配管系統図 5 配線系統図 6 計算書 7 使用機器図</p>	<p>(1)「配管系統図」には、消火装置等の構成、配置、配管の経路等を系統的に明記すること。 (2)「配線系統図」には、配線の種類、電源系統及び配線系統並びに作動順序を示す接続の状況、移報表示等を明記すること。 (3)「計算書」には、被防護面積等の算定内容を明記すること。</p>

3 消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書

（１）法第 17 条の 3 の 2 の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置の届出（以下「設置届」という。）の添付書類及び記載要領については、第 1－3 表によること。

なお、簡易自動消火装置の設置届について準用する。

（２）着工届及び工事計画書の対象となる設備については、第 1－1 表、第 1－2 表に記載された添付図書によること。

（３）設置届に係る添付書類で、着工届及び工事計画書に添付した図書と同一となるものにあつては、これを省略することができる。

第 1－3 表

設備の種類	添付書類	記載要領等
消火器 住宅用消火器	1 平面配置図 2 仕様書（パンフレット等）及び能力単位計算書	「能力単位計算書」は、試験結果報告書備考欄に記載してあれば、別様でなくても支障ない。
告示第 5 第 3 号（４）に規定する高輝度蓄光式誘導標識	1 平面配置図 2 仕様書（パンフレット等）、認定書及び型式認定付属書（写し）	「誘導灯及び誘導標識の試験結果報告書」の「設置場所の照度」の欄に設置箇所に応じて平面又は床面の照度を記入し、「表示面の平均照度」の欄には、常用光源蛍光ランプ D ₆₅ で 100lx の照度で 20 分間照射し照射をとめた 20 分後の照度を記入するものであること。 ただし、告示に適合しているものとして、総務大臣又は消防長官が登録した登録機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 消防用設備等特例適用申請書

政令第 32 条の規定に基づく消防用設備等の特例の適用を受けようとする者は、あらかじめ消防用設備等特例適用申請書に特例を適用するために必要となる添付書類を添えて 1 部提出すること。

その後、内容の審査を行ったのち、審査結果を通知する。

なお、本指針に定めがあり、特例の適用が明らかな場合は、この限りでない。

別記様式 1

防火対象物 } の概要表
製造所等 }

建 築 物 の 概 要						
名 称			所 在 地	相模原市		
用 途			階数（階層）	地上 階	地下 階	塔屋 階
主 構 造 要 部	耐火構造・準耐火構造・その他（ ）				延 べ 面 積	m ²
階 別	床 面 積 (m ²)	用 途 又 は 室 名	構 造	内 装 仕 上 げ		特 記 事 項
				天 井	壁	
そ の 他						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
2 消防用設備等の設置に係る階について、各階ごとに記入すること。

別記様式 2

屋内消火栓設備・屋外消火栓設備
水噴霧消火設備・泡消火設備 } の概要表

水 源	専用・兼用	種 別	地下ピット・床置き・その他 ()		有効水量 (当該設備用)		m ³		
加 圧 送 水 装 置	ポンプ方式 ユニット型	ポンプ、電動機	専用・兼用		口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力				
			電圧	V	φ × L/min × m × kw				
		呼 水 装 置	有 ・ 無	有効容量	L	減水警報の表示場所			
		起動用圧力タンク	有 ・ 無	容 量	L	ポンプ設置場所			
	高架水槽方式	有効落差	m	圧力水槽方式	加圧圧力	MPa	内容積	m ³	
屋内消火栓	1 号	個	2 号	個	易操作性 1 号		個	合 計	個
屋外消火栓	個	ホース	長さ	m	本	表示灯	専用 ・ 兼用		
噴霧ヘッド	標準放射量 L/min ・ 標準放射圧力 MPa ・ 放射角度 °								
泡放出口	フォームヘッド 個 ・ フォームウォーターズプリンクラーヘッド 個								
	高発泡用泡放出口 個 ・ 泡ノズル 個 ・ その他 () 個								
泡消火設備の方式		固定式 (全域・局所) ・ 移動式			高発泡・低発泡	一斉開放弁	A	個	
泡 消 火 薬 剤	種別	たん白泡・合成界面活性剤・水成膜泡			貯蔵量	L	希釈容量濃度	%	
	混合方式	差圧混合方式 ・ 管路混合方式 ・ 圧入混合方式 ・ ポンプ混合方式 ・ その他 ()							
放 (出・射) 区域	区域数 区域	最大	放水 (出・射) 面積 m ²		放水 (出・射) 量 L/min		放出体積 m ³		
		最小	放水 (出・射) 面積 m ²		放水 (出・射) 量 L/min		放出体積 m ³		
起動装置	ポンプ起動方式	自火報発信機・専用スイッチ・起動用水圧開閉装置・流水検知装置・その他							
	起動感知方式	スプリンクラーヘッド ・ 感知器 ・ その他 ()						手動式開放弁	
自 動 警 報 装 置		流水検知装置		A	個	圧力検知装置	個	その他	
配 管	立上がり管口径	A	材質			専用・兼用 (設備)			
	止水弁	逆止弁			その他 ()				
ブ ー ス ポ タ ン ク	ポンプ、電動機	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力					補助水槽		
		φ × L/min × m × kw					m ³		
		φ × L/min × m × kw					m ³		
電 源	常用電源	単相 ・ 三相 AC V 電灯回路 ・ 動力回路							
		DC	V	AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用	
	非常電源	自家発電設備	単相 ・ 三相	AC ・ DC	V	kVA	使用別	専用・共用	
		蓄電池設備	DC	V	AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用
		非常電源専用受電設備 単相 ・ 三相 AC V							
配 線	常 用 電 源 回 路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()							
	非 常 電 源 回 路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()							
	警 報 回 路	耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()							
	そ の 他 の 回 路	IV 電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()							
そ の 他									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 3

ス プ リ ン ク ラ ー 設 備 の 概 要 表

水 源	専用・兼用	地下ピット・床置き・その他 ()		有効水量(当該設備用)		m ³		
加 圧 送 水 装 置	ポンプ方式	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力				
			電圧	V	φ × L/min × m × kw			
	ユニット型	呼 水 装 置	有 ・ 無	有効容量	L	減水警報の表示場所		
		起動用圧力タンク	有 ・ 無	容 量	L	ポンプ設置場所		
	高架水槽方式	有効落差	m	圧力水槽方式	加圧圧力	MPa	内容積 m ³	
ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド 等	閉鎖型 (高感度)	(温度 °C	個) ・ (温度 °C	個)			減 圧 弁	
	閉鎖型 (標準型)	(温度 °C	個) ・ (温度 °C	個)				
	小 区 画 型	(温度 °C	個) ・ (温度 °C	個)			有 ・ 無	
	側 壁 型	(温度 °C	個) ・ (温度 °C	個)				
	開放型ヘッド	個 ・ 補助散水栓 個						
設 備 の 方 式		湿式・乾式・予作動式		自動警報装置	流水検知装置	A 個	・ 圧力検知装置 個	
ポンプ起動方式		起動用水圧開閉装置・流水検知装置・その他 ()				送水口 (双口型 個)		
起動感知方式		スプリンクラーヘッド・感知器・その他 ()				手動式開放弁		
一 斉 開 放 弁		A 個		電 動 弁 等	A 個			
配 管	管	立上がり管口径	A	材質	専用・兼用 (設備)			
	弁 類	止水弁 逆止弁 その他 ()						
放水型ヘッド		固定式 (個) ・ 可動式 (個)		一斉開放弁	A 個			
加 圧 送 水 装 置	放水型ヘッド	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力				
			電圧	V	φ × L/min × m × kw			
	ユニット型	呼 水 装 置	有 ・ 無	有効容量	L	減水警報の表示場所		
		起動用圧力タンク	有 ・ 無	容 量	L	ポンプ設置場所		
起 動 感 知 方 式		感知器・走査型の感知器・その他 ()						
配 管	管	立上がり管口径	A	材質	専用・兼用 (設備)			
	弁 類	止水弁 逆止弁 その他 ()						
ブ ー ス タ ン ク	ポンプ、電動機	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力		補助水槽				
		φ × L/min × m × kw		m ³				
		φ × L/min × m × kw		m ³				
補 助 加 装 圧 置	ポンプ、電動機	φ × L/min × m × kw						
		φ × L/min × m × kw						
		φ × L/min × m × kw						
電 源	常用電源	単相 ・ 三相 AC V		電灯回路 ・ 動力回路				
		DC V AH		充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用	
	非常電源	自家発電設備	単相 ・ 三相 AC ・ DC V		kVA	使用別	専用・共用	
		蓄電池設備	DC V AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用	
非常電源専用受電設備		単相 ・ 三相 AC V						
配 線	常用電源回路	露出ケーブル、電線管露出、電線管埋設、その他 ()						
	非常電源回路	耐火電線、電線管露出、電線管埋設、その他 ()						
	警 報 回 路	耐熱電線、電線管露出、電線管埋設、その他 ()						
	その他の回路	IV 電線、露出ケーブル、電線管露出、電線管埋設、その他 ()						
その他								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 4

不活性ガス消火設備・ハロゲン化物消火設備
粉末消火設備 } の概要表

放出方式	全域放出方式・局所放出方式・移動式				制御盤設置位置						
貯蔵容器等	蓄圧（高圧式・低圧式・その他（ ））・加圧										
起動方式	手動電気式・手動ガス式・自動式										
音響警報	音声・サイレン・音声＋サイレン・ブザー・その他（ ）										
放出表示灯	設置個数	箇所	回転灯等	設置個数	箇所	赤色表示灯	専用・兼用				
消火剤	種別				設置場所						
	容器別数量		kg	×容器本数	本	kg					
加圧用ガス	窒素ガス・二酸化炭素		数量	m ³ ・L・kg		容器本数		本			
配管	管										
	弁類	選択弁・放出弁・減圧弁・閉止弁・その他（ ）									
放出区域	区域数	最大	放出面積	m ²	放出率	kg/s	放出体積	m ³			
	区域	最小	放出面積	m ²	放出率	kg/s	放出体積	m ³			
移動式消火設備の数		箇所									
電源	常用電源	単相・三相		AC	V	電灯回路・動力回路					
		DC		V	AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用		
	非常電源	自家発電設備		単相・三相	AC・DC	V	kVA	使用別	専用・共用		
		蓄電池設備		DC	V	AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用	
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）									
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）									
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）									
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）									
	放出区域名	階	面積	体積	換気口	換気装置	排出措置	消火剤量	ヘッド数		
1			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
2			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
3			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
4			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
5			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
6			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
7			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個		
その他											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

(その1)

別記様式 5

4 - 1 - 1 5

受信機	蓄積式 ・ 二信号式 ・ アナログ式 ・ 自動試験機能付き ・ 遠隔試験機能付き ・ その他 ()									
	P・GP型 級 / 回線 R・GR型 自火報点数 点 その他 () 点数 点 予備点数 点									
	予備電源 (DC V AH)			設置場所		階 室				
	型式番号 受第 号			製造会社名						
表示器	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点									
	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点									
電源	常用電源	単相 ・ 三相 AC V 非常電源専用受電設備回路 ・ 電灯回路 ・ 動力回路								
		DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共用 ())								
	非常電源	非常電源専用受電設備 単相 ・ 三相 AC V								
		蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共用 ())								
音響装置	主音響装置 (内蔵されているものは除く)	ベル ・ サイレン ・ 電子ブザー ・ スピーカー ・ その他 ()								
		鐘径 mm		定格 DC V mA		個				
		型式番号 (号)		製造会社名						
	地区音響装置	型式番号 (号)		認定番号 (号)		製造会社名				
		ベル ・ サイレン ・ 電子ブザー ・ 音声合成 ・ その他 ()								
		鐘径 mm		定格 DC V mA		個		dB		
	音声切替装置	型式番号 (号)		DC V		製造会社名				
		常用電源	単相 AC V 常用電源専用受電設備回路 ・ 電灯回路							
		非常電源	蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動)							
	配線	常用電源回路	ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他 ()							
非常電源回路		耐火電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他 ()								
警報回路		耐熱電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他 ()								
その他回路		I V 電線 ・ ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他 ()								
関連設備	消火設備 () ・ 火災通報装置 ・ 誘導灯信号装置									
	非常警報設備 ・ 放送設備 ・ その他 ()									
工事者区分	電源工事									
	配線工事									
	配線工事									
	配線工事									
	機器の取り付け工事									
その他										

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 感知器記入欄の () 内は、その機能又は性能を記入すること。
- 4 関連設備の消火設備 () 内は、その設備等の種類を記入すること。

項						目					
回線種別		<input type="checkbox"/> アナログ <input type="checkbox"/> デジタル（ ）									
火 災 通 報 装 置	品名・型式				型式番号						
	製造会社名										
	設置場所		階 室								
	遠隔起動装置	設置場所	電話機付 （ 台）	(1)	(2)	(3)					
				(4)	(5)	(6)					
			電話機なし （ 台）	(1)	(2)	(3)					
				(4)	(5)	(6)					
	選択信号送出方式 （アナログ方式）		<input type="checkbox"/> DP方式（ <input type="checkbox"/> 10PPS、 <input type="checkbox"/> 20PPS） <input type="checkbox"/> PB方式								
	自動火災報知設備連動		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無								
常用電源		AC V									
予備電源		DC V AH									
付 属 装 置 （ターミナルアダプター）	品名・型式				型式番号						
	製造会社名										
	種 別		<input type="checkbox"/> 優先接続型 <input type="checkbox"/> 優先接続型以外								
	設置場所		階 室								
	接 続 方 法	接続端末機器等	優先接続型	<input type="checkbox"/> 火災通報装置（アナログ） <input type="checkbox"/> アナログ端末機器 台 <input type="checkbox"/> デジタル端末機器 台 （送受信情報量 kbps）							
			以外 優先接続型	<input type="checkbox"/> 火災通報装置（アナログ） <input type="checkbox"/> アナログ端末機器 台 <input type="checkbox"/> デジタル端末機器 台 （送受信情報量 kbps）							
	送受信情報量の表示		kbps								
	常用電源		AC V								
	予備電源		DC V AH								
工 事 者 区 分	電源工事					配線工事					
	機器の取付工事										
	工事担当者・電話工事										
そ の 他											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項の□印内をチェックすること。
3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

別記様式 7

ガス漏れ火災警報設備の概要表

検知器	検 知 対 象 ガ ス	空気より軽い都市ガス	空気より重い都市ガス	そ の 他 の も の			
	個 数	個	個	個			
中継器	<div>専用方法</div> <div>受信機供給方法 予備電源 V AH</div> <div>その他の方法</div>						
受信機	区 分	型		回 線 数	／ 回線		
	付 属 装 置			付 属 回 路			
	予 備 電 源	V AH		設 置 場 所	階		
電 源	常 用 電 源	単相 ・ 三相 AC V 電灯回路 ・ 動力回路					
		DC V AH	充電方法	トリクル ・ 浮動	使用別	専 用 ・ 共 用	
	非 常 電 源	蓄電池設備		充電方法	トリクル ・ 浮動	使用別	専 用 ・ 共 用
		DC V AH	インバーター出力	V A			
		自家発電設備 単相 ・ 三相 AC V KVA					
警 報 装 置	音 声 警 報 装 置	増 幅 器 出 力		ス ピ ー カ ー 個 数		非常用放送設備と兼用	
		定格 W		個		有 ・ 無	
	ガス漏れ表示灯	中 継 器 付 属 の も の			そ の 他 の も の		
		個			個		
	検知区域警報装置	検 知 器 付 属 の も の			そ の 他 の も の		
		個			個		
配 線	常 用 電 源 回 路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）					
	非 常 電 源 回 路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）					
	検 知 器 回 路	耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）					
	警 報 装 置 回 路	耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）					
	そ の 他 の 回 路	I V電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他（ ）					
工事者区分	電 源 及 び 配 線			機器取付			
製造者名	受信機製造会社			型式番号			
	中継器製造会社			型式番号			
	検知器製造会社						
その他							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 8

避難器具の概要表

防火対象物の概要								
名 称					所 在 地			
用 途					階数(階層)		地上 階 地下 階 塔屋 階	
主要構造部		耐火構造 ・ 準耐火構造 ・ その他 ()			延べ面積		m ²	
避難器具の概要								
階 別	床面積	用 途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免数	設置数	避難器具の種別 (個数)
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
								は()・袋()・緩()
避難器具の種別								
型 式 番 号		第 ～ 号		第 ～ 号		第 ～ 号		第 ～ 号
設置場所の状況 (用途、構造等)								
開口部の大きさ 縦 × 横 (cm)		×		×		×		×
腰 高 (cm)								
操 作 面 積 (cm)								
個 定 位 置								
固 定 方 法								
固定部材にかかわる 設計荷重 (kN)								
固定部材の許容応力 (kN)								
そ の 他								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 避難器具の種別 (個数) 欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の () 内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

別記様式 9

総 合 操 作 盤 の 概 要 表

品 名 ・ 型 式				
音 響 装 置		<input type="checkbox"/> ベル・ <input type="checkbox"/> ブザー・ <input type="checkbox"/> 音声警報・その他 ()		
表 示 方 法		<input type="checkbox"/> CRT・ <input type="checkbox"/> グラフィックパネル・ <input type="checkbox"/> 窓・その他 ()		
製 造 会 社 名				
監視場所(副監視) (遠隔監視)		階 室		
電 源	常用電源	AC V		
	非常電源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備・非常電源(自家発電設備)・蓄電池設備 DC V AH		
消 防 用 設 備 等	<input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備		<input type="checkbox"/> スプリンクラー設備	<input type="checkbox"/> 水噴霧消火設備
	<input type="checkbox"/> 泡消火設備		<input type="checkbox"/> 不活性ガス消火設備	<input type="checkbox"/> ハロゲン化物消火設備
	<input type="checkbox"/> 粉末消火設備		<input type="checkbox"/> 屋外消火栓設備	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備
	<input type="checkbox"/> ガス漏れ火災警報設備		<input type="checkbox"/> 非常警報設備 (放送設備に限る。)	<input type="checkbox"/> 誘導灯
	<input type="checkbox"/> 排煙設備		<input type="checkbox"/> 連結散水設備	<input type="checkbox"/> 連結送水管
	<input type="checkbox"/> 非常コンセント設備		<input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
避 難 設 備 ・ 建 築 設 備 等	<input type="checkbox"/> 排煙設備		<input type="checkbox"/> 非常用の照明設備	<input type="checkbox"/> 機械換気
	<input type="checkbox"/> 空気調和		<input type="checkbox"/> 非常用エレベーター	<input type="checkbox"/> 防火区画 (構成機器設備)
	<input type="checkbox"/> 防煙区画 (構成機器設備)		<input type="checkbox"/> 非常錠設備	<input type="checkbox"/> ITV 設備
	<input type="checkbox"/> ガス緊急遮断弁		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工事者区分	電 源 工 事			
	配 線 工 事			
	配 線 工 事			
	機器の取付工事			
	機器の取付工事			
	機器の取付工事			
そ の 他				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項の□印内をチェックすること。
 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

種別		Ⅰ型×（ ）台 ・ Ⅱ型×（ ）台							
認定番号		号		型式記号					
消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧(MPa)		材質		内容積		L × 本	
消火薬剤	種別			型式番号					
	貯蔵量	(1台当たり) L × 本 = L							
加圧用ガス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素						
		充填量	(1台当たり) m ³ ・L・kg ×				本	充填圧力	MPa
ホース等	材質				ノズル切替有無		有 ・ 無		
	寸法	長さ m (Ⅰ型・Ⅱ型)							
	ホース収納方式	リール収納方式 ・ ホース架収納方式							
設置場所		設置階							
		台数							
電源	常用電源回路	単相・三相 AC V 電灯回路・動力回路							
		DC V AH	充電方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同						
	非常電源回路	種別 (DC V AH)	充電方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同						
配線	表示灯回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()							
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()							
放射性能	放射率	L / min							
	放射距離	m							
	全量放射時間	秒							
備考									

4 - 1 - 2 1

別記様式 1 1

パッケージ型自動消火設備の概要表

認定番号・設置台数		認定型式番号		号×	台	型式記号			
消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧(MPa)		材 質			内 容 積	L× 本	
消 火 薬 剤		種 別				型式番号			
		薬 剤 量	容器別数量	L×容器本数	本	L×容器本数	本		
				L×容器本数	本	L×容器本数	本		
				L×容器本数	本	L×容器本数	本		
				L×容器本数	本	L×容器本数	本		
加 圧 用 ガ ス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素						
		充 填 量	(1台当たり)		m ³ ・L・kg×	本	充 填 圧 力	MPa	
本 体 設 置 状 況		薬剤貯蔵容器等					接地端子	有・無	
感知部	感知器の種別	式	型 ()	型式番号：感第		号×	種	個	
		式	型 ()	型式番号：感第		号×	種	個	
		式	型 ()	型式番号：感第		号×	種	個	
		式	型 ()	型式番号：感第		号×	種	個	
		検 出 方 式							
音 響 装 置		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他 ()				連動有無	有 () 無		
手動起動方式									
放 出 導 管		主 管	材質：	呼び方：		分 岐 管	材質：		
		最大長さ m							
放 出 口		材質：	放射量：		L/min				
補 助 散 水 栓		屋内消火栓 (1号・2号・易操作1号) ×			台	I 型×	台	II 型×	台
電 源	常用電源回路	単相・三相 AC V 電灯回路・動力回路							
		DC V AH	充電方式：トリクル・浮動			使用別：専用・共同			
	非常電源回路	種別 () DC V AH	充電方式：トリクル・浮動			使用別：専用・共同			
配 線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()							
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()							
	警 報 回 路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()							
	その他の回路	IV 電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()							
階	階面積	主 な 用 途		同時放射区域数	最大同時放射区域面積	放出口数	備 考		
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
階	m ²			区域	m ²	個			
合 計				区域		個			
備 考									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

備考 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

別記様式 1 2

消防用設備等工事計画書				
あて				年 月 日
住所		届出者 (電話番号)		
氏 名				
工事の場所		相模原市 電話番号		
工事を行う防火対象物の名称				
消防用設備等の種類				
消 防 工 事 設 施 等 者	住 所	電話番号		
	法人の名称及び 代表者の氏名			
	氏 名 (消防用設備等の工事に直接携わるもの)			
工事の種類		1 新設 2 増設 3 移設 4 取替え 5 改造 6 その他		
建物の概要		建築面積	m ²	延べ面積 m ²
		用 途		階 数 地上 階 地下
		構 造	1 耐火構造 2 準耐火構造 3 その他 ()	
工事施工予定期間		年 月 日 ~ 年 月 日		
* 受 付 欄			* 経 過 欄	

※ 工事着工前に、あらかじめ提出して下さい。

*印の欄は、記入しないで下さい。

別記様式 13

動力消防ポンプ設備概要表

項 目			
種 別		<input type="checkbox"/> 消防ポンプ自動車 <input type="checkbox"/> 自動車に牽引されるもの <input type="checkbox"/> 小型動力ポンプ付積載車 <input type="checkbox"/> 可搬消防ポンプ	
		個 数	() 個
水 源	種 別	<input type="checkbox"/> 防火水槽 <input type="checkbox"/> 地上タンク <input type="checkbox"/> その他 ()	
	構 造		
	水 量	保有量 () m ³ 有効水量 () m ³	
	専兼用	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 兼用	
ポンプの設置場所	消防ポンプ自動車等	設置場所	
		周囲の状況	
		水源からの歩行距離	() m
	可搬消防ポンプ	設置場所	
		周囲の状況	
		水源からの歩行距離	() m
動力消防ポンプ	製造番号等		
	ポンプの級別		A・B・C・Dー 級
	規格放水量		L / min
	吸水口の口径		mm
	放水口の口径		mm
	放水口数		口
	燃料等		
放水用具	消防ホース	呼称 ×長さ m × 本	
	筒先口径	mm	
	吸管ストレーナー	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	その他		
備考			

* 項目中の□欄は、該当するものを√印で記入して下さい。

別記様式 1 4

消 防 用 水 概 要 表

項 目			
方式	<input type="checkbox"/> 自吸式、 <input type="checkbox"/> 加圧式		
水 源	種 別 水 量	<input type="checkbox"/> 防火水槽 <input type="checkbox"/> 地中梁 <input type="checkbox"/> 据え置き <input type="checkbox"/> その他 () 保有量 () m ³ 有効水量 () m ³ <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 兼用	
	構 造	鉄筋コンクリート造	<input type="checkbox"/> 現場打ち <input type="checkbox"/> 二次製品
		その他	
種 別	<input type="checkbox"/> 連絡装置：有 ・ ブースターポンプ：有 <input type="checkbox"/> 連絡装置：有 ・ ブースターポンプ：無 <input type="checkbox"/> 連絡装置：無 ・ ブースターポンプ：有 <input type="checkbox"/> 連絡装置：無 ・ ブースターポンプ：無		
連絡装置設置位置		<input type="checkbox"/> 採水口付近、 <input type="checkbox"/> 防災センター内、 <input type="checkbox"/> その他 _____	
ブ ー ス タ ー ポ ン プ	設置位置		
	種 別	<input type="checkbox"/> 水中ポンプ <input type="checkbox"/> その他 ()	
	ポンプ 電動機	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 兼用 吐出量 () L/min 全揚程 () m 出 力 () k w 口 径 () mm 電 圧 () V	
	呼 水 装 置	有効容量 () L 給水方法 () 呼水管 () A 減水警報の種別 _____ 及び表示場所 _____	
	起動スイッ チ位置	<input type="checkbox"/> 採水口付近、 <input type="checkbox"/> 防災センター内、 <input type="checkbox"/> その他 ()	
吸 水 方 法	採水口	<input type="checkbox"/> 呼称 7 5 ねじ式 <input type="checkbox"/> 呼称 6 5 差し込み式	
	吸水管 投入口	投入口寸法	直径 () c m
		投入口である旨の表示	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
備 考			

* 項目中の□欄は、該当するものを✓印で記入して下さい。

別記様式 15

連結散水設備概要表

項 目			
設備方式		<input type="checkbox"/> 開放式ヘッド方式 <input type="checkbox"/> 閉鎖型ヘッド方式（屋内消火栓設備兼用方式・高架水槽方式）	
開放型 ヘッド方式	送水区域数	() 区域	
	送水口	双口型 () 基	
	ヘッド	最大設置数 () 個 最小設置数 () 個	
	選択弁	<input type="checkbox"/> 有（設置場所 、口径 A、 個）、 <input type="checkbox"/> 無	
	排水弁	<input type="checkbox"/> 有（設置場所 、口径 A、 個）、 <input type="checkbox"/> 無	
	設計送水圧力	() MPa	
	配管	管材種	<input type="checkbox"/> JIS ()、 <input type="checkbox"/> その他 ()
		管継手	<input type="checkbox"/> JIS ()、 <input type="checkbox"/> その他 ()
		弁類	<input type="checkbox"/> JIS _____ (_____ K)、 <input type="checkbox"/> JIS 以外 _____ (_____ K)
		接続	<input type="checkbox"/> ねじ、 <input type="checkbox"/> その他 ()
防食措置		<input type="checkbox"/> ライニング管、 <input type="checkbox"/> その他 ()	
閉鎖型 ヘッド方式	水源水量	有効 (m ³)	
	送水口	双口型 () 基	
	ヘッド	閉鎖型ヘッド (個)、表示温度 (°C)	
	連結送水管兼用	<input type="checkbox"/> 有、 <input type="checkbox"/> 無	
	加圧送水装置等	<input type="checkbox"/> ポンプ方式（設置場所 ） ・ <input type="checkbox"/> 専用ポンプ <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備用ポンプ ・ ポンプ（吐出量 L/min × 全揚程 m × 口径 A） ・ 電動機（電圧 V、 出力 k w） <input type="checkbox"/> 高架水槽方式（設置場所 ） ・ <input type="checkbox"/> 専用高架水槽 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備用高架水槽 ・ 落差 m	
	起動方法	<input type="checkbox"/> 流水検知装置（設置数 個、口径 A） <input type="checkbox"/> 圧力検知装置（設置数 個、口径 A）	
	設計送水圧力	() MPa	
	管	<input type="checkbox"/> JIS G 3442、 <input type="checkbox"/> JIS G 3452、 <input type="checkbox"/> その他	
	管継手	フランジ	<input type="checkbox"/> JIS B 2238、 <input type="checkbox"/> JIS B 2220、 <input type="checkbox"/> その他
		フランジ以外	<input type="checkbox"/> JIS B 2301、 <input type="checkbox"/> JIS B 2311、 <input type="checkbox"/> JIS B 2312、 <input type="checkbox"/> その他
	弁類	<input type="checkbox"/> JIS _____ (_____ K)、 <input type="checkbox"/> JIS 以外 _____ (_____ K)	
	配管の防食措置	<input type="checkbox"/> ライニング管、 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	その他		

（注1）送水口及び放水口の結合金具は、「差し込み式」のものとする。

（注2）口径が異なる場合は、備考欄にそれぞれ記入すること。

* 項目中の□欄は、該当するものを✓印で記入して下さい。

* 項目中「適合品の打刻」とは、一般社団法人日本消防放水器具工業会において定める基準に適合したものの表示をいう。

別記様式 16

連結送水管（共同住宅用連結送水管）概要表

項 目	
方 式	<input type="checkbox"/> 湿式 <input type="checkbox"/> 乾式 (ブースターポンプ <input type="checkbox"/> 有、 <input type="checkbox"/> 無し) (注1)
結合金具	<input type="checkbox"/> 差し込み式 <input type="checkbox"/> ネジ式 (注2)
スプリンクラー設備の状況	<input type="checkbox"/> 全階設置 <input type="checkbox"/> 一部設置 (設置階 _____階) <input type="checkbox"/> 設置無
屋内消火栓設備の状況	<input type="checkbox"/> 全階設置 <input type="checkbox"/> 一部設置 (設置階 _____階) <input type="checkbox"/> 設置無
送水口	双口型 _____基 適合品の打刻 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
系統数	_____系統 (<input type="checkbox"/> 連結送水管専用、 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備兼用)
放水口位置	<input type="checkbox"/> 特別避難階段等の附室、 <input type="checkbox"/> 屋外階段、 <input type="checkbox"/> 屋内階段、 <input type="checkbox"/> 階段等付近
非常用エレベーター	<input type="checkbox"/> 設置有り、 <input type="checkbox"/> 設置無し
放水口等の設置数	階 別
	単口形
	双口形
	放水用具 有無
配管等	管
	継手
	フランジ
	フランジ以外
	弁類
加圧送水装置	防食措置
	設置位置
	圧力調整装置
	ポンプ電動機
	起動装置位置
	非常電源
	配 線
	中間水槽等
補助用高架水槽	連絡装置等
	水槽材質
	容 量
	給水方式
備考	給水管口径 _____A
	他の設備との兼用

(注1) 特別な場合を除き、湿式とすること。

(注2) 送水口及び放水口の結合金具は、「差し込み式」のものとする。

* 項目中の□欄は、該当するものを√印で、アンダー部分には該当する内容を記入して下さい。

* 項目中「適合品の打刻」とは、一般社団法人日本消防放水器具工業会において定める基準に適合したものの表示をいう。

別記様式 17

非常警報設備（共同住宅用非常警報設備）概要表

項 目						
機器の種別	<input type="checkbox"/> 一体型 <input type="checkbox"/> 複合装置 <input type="checkbox"/> 単体型 <input type="checkbox"/> その他（ ） 認定番号（ ）					
音 響 装 置	<input type="checkbox"/> 非常ベル <input type="checkbox"/> 自動式サイレン					
	鐘（スピーカー）径（ ）mm 電圧（ ）V 電流（ ）A 設置数 <input type="checkbox"/> 屋内型（ ）個 <input type="checkbox"/> 屋外型（ ）					
操 作 装 置	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 回線数（ / ）回線 設置場所（ 階 ）					
鳴 動 方 法	<input type="checkbox"/> 一斉 <input type="checkbox"/> 出火階直上階 <input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> その他（ ）					
非 常 電 源	<input type="checkbox"/> 専用受電設備 AC（ ）A					
	<input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 据 置 <input type="checkbox"/> 内 蔵	種類	容量	電圧	充電方式	充電々流
		<input type="checkbox"/> ニッケルドミム <input type="checkbox"/> 鉛	（ ） 時間率 A H	V	<input type="checkbox"/> トリクル <input type="checkbox"/> 浮電 <input type="checkbox"/> その他	m A
		<input type="checkbox"/> 密閉型 <input type="checkbox"/> 開放型				
配 線	常用電源回路	<input type="checkbox"/> 露出ケーブル <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他				
	非常電源回路	<input type="checkbox"/> 耐火電線 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他				
	警報回路	<input type="checkbox"/> 耐熱電線 <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他				
	弱電回路	<input type="checkbox"/> 露出ケーブル <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他				
備 考						

* 項目中の□欄は、該当するものを√印で記入して下さい。

別記様式 18

非常警報設備概要表（放送設備）

項 目	
方 式	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 業務兼用
回線数	(/) 回線
増幅器	型名 () 認定番号 () 定格出力 () W 消費電力 () W 設置場所 (階)
操作部	放送区分 <input type="checkbox"/> 一斉 <input type="checkbox"/> 階別選択 設置場所 (階)
遠隔操作器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 型式 () 認定番号 () 設置場所 (階)
起動装置	<input type="checkbox"/> 押しボタン <input type="checkbox"/> 発信機 <input type="checkbox"/> 非常電話 <input type="checkbox"/> 自火報の感知器連動
非常電話	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 型名 () 認定番号 () 子機 () 台 本機の設置場所 (階)
自動放送	<input type="checkbox"/> 有 起動方式 <input type="checkbox"/> 自火報の感知器連動 <input type="checkbox"/> 発信機と連動 <input type="checkbox"/> 非常電話と連動 <input type="checkbox"/> 手動操作のみ
	<input type="checkbox"/> 無 起動方式 <input type="checkbox"/> 押しボタン <input type="checkbox"/> その他 ()
スピーカー	<input type="checkbox"/> 2線式 <input type="checkbox"/> 3線式 音量調整器 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置方式 <input type="checkbox"/> 壁掛け <input type="checkbox"/> 埋込 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> ホーン型 () W× () 個 L 級 <input type="checkbox"/> コーン型 () W× () 個 <input type="checkbox"/> その他 () W× () 個
	<input type="checkbox"/> ホーン型 () W× () 個 M 級 <input type="checkbox"/> コーン型 () W× () 個 <input type="checkbox"/> その他 () W× () 個
	<input type="checkbox"/> ホーン型 () W× () 個 S 級 <input type="checkbox"/> コーン型 () W× () 個 <input type="checkbox"/> その他 () W× () 個
	<input type="checkbox"/> その他 () W× () 個
非常電源	<input type="checkbox"/> 専用受電設備 AC () A <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 据置 <input type="checkbox"/> 内蔵 <input type="checkbox"/> トリクル充電 <input type="checkbox"/> 浮動充電
配 線	常用電源回路 <input type="checkbox"/> 露出ケーブル <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他 非常電源回路 <input type="checkbox"/> 耐火電線 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他 警報回路 <input type="checkbox"/> 耐熱電線 <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他 弱電回路 <input type="checkbox"/> 露出ケーブル <input type="checkbox"/> 電線管露出 <input type="checkbox"/> 電線管理設 <input type="checkbox"/> その他
備 考	

* 項目中の□欄は、該当するものを√印で記入して下さい。

別記様式 19

漏電火災警報器概要表

項 目	
契約電流 () A	
受信機	型 式 <input type="checkbox"/> 1 級 <input type="checkbox"/> 2 級 (漏第 号)
	設置場所 (階)
	遮断機構 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	公称作動電流 () mA
変流器	構 造 <input type="checkbox"/> 分割型 <input type="checkbox"/> 貫通型
	設置場所 (階)
	定格値 定格電流 () A 定格電圧 () V
遠方ブザー位置 (階)	
備考	

* 項目中の□欄は、該当するものを√印で記入して下さい。

別記様式 20

避難器具概要表

項 目				
階 数 設 置 数 及 び 種 別				
階 数	種 別 及 び 設 置 数			
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
	() 個	() 個	() 個	() 個
合 計	() 個	() 個	() 個	() 個
型 式 承 認				
種 別	型 式 番 号 等			
()	() 個	() 個		
()	() 個	() 個		
()	() 個	() 個		
()	() 個	() 個		
()	() 個	() 個		
()	() 個	() 個		
()	() 個	() 個		
その他				

避難器具の階別設置数及び種別欄は、括弧内に避難器具の種別を記載すること。

別記様式 2 1

誘導灯・誘導標識概要表

項 目				
区 分	避難口誘導灯	<input type="checkbox"/> A 級	<input type="checkbox"/> 矢印なし・ <input type="checkbox"/> 有効距離 60m____個・その他有効距離____m____個 <input type="checkbox"/> 矢印付き・ <input type="checkbox"/> 有効距離 40m____個 (備考 2)	
		B 級	<input type="checkbox"/> B H 級	<input type="checkbox"/> 矢印なし・ <input type="checkbox"/> 有効距離 30m____個・その他有効距離____m____個 <input type="checkbox"/> 矢印付き・ <input type="checkbox"/> 有効距離 20m____個
			<input type="checkbox"/> B L 級	<input type="checkbox"/> 矢印なし・ <input type="checkbox"/> 有効距離 30m____個・その他有効距離____m____個 <input type="checkbox"/> 矢印付き・ <input type="checkbox"/> 有効距離 20m____個
		<input type="checkbox"/> C 級	<input type="checkbox"/> 有効距離 15m____個・その他有効距離____m____個	
	通路誘導灯	<input type="checkbox"/> A 級	<input type="checkbox"/> 有効距離 20m____個・その他有効距離____m____個	
		B 級	<input type="checkbox"/> B H 級	<input type="checkbox"/> 有効距離 15m____個・その他有効距離____m____個
			<input type="checkbox"/> B L 級	<input type="checkbox"/> 有効距離 15m____個・その他有効距離____m____個
		<input type="checkbox"/> C 級	<input type="checkbox"/> 有効距離 10m____個・その他有効距離____m____個	
	<input type="checkbox"/> 階段通路誘導灯		____個 [<input type="checkbox"/> 非常用の照明装置を設置 (<input type="checkbox"/> 3 0 分間・ <input type="checkbox"/> 6 0 分間)]	
	<input type="checkbox"/> 客席通路誘導灯		____個	
<input type="checkbox"/> 誘導標識		<input type="checkbox"/> 高輝度蓄光式____個・ <input type="checkbox"/> 中輝度蓄光式____個・ <input type="checkbox"/> その他____個		
機 能 (方 式)	<input type="checkbox"/> 点滅・誘導音機能	<input type="checkbox"/> 視力又は聴力の弱い者の避難経路となる部分		
	<input type="checkbox"/> 点滅機能のみ	<input type="checkbox"/> 百貨店等の地階の売場		
	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 誘導音機能のみ	<input type="checkbox"/> 誘導灯を容易に識別しにくい部分	
		<input type="checkbox"/> 消灯方式	<input type="checkbox"/> 無人の防火対象物 <input type="checkbox"/> 外光により避難口又は避難の方向が識別できる場合 <input type="checkbox"/> 利用形態により特に暗さが必要である場所 <input type="checkbox"/> 主として防火対象物の関係者及び関係者に雇用されているものの使用に供する場所 <input type="checkbox"/> 省令第 28 条の 3 第 3 項第 1 号二に掲げる場所で通常開放されている部分	
<input type="checkbox"/> 制御機器の設置		<input type="checkbox"/> 受信機 (移報装置を含む) ____個 <input type="checkbox"/> 光電式自動点滅器____個 <input type="checkbox"/> 扉開閉器と連動する点滅器____個 <input type="checkbox"/> 照明器具連動点滅器____個 <input type="checkbox"/> 施錠連動点滅器____個	<input type="checkbox"/> 信号装置____個 <input type="checkbox"/> 連動開閉器____個 <input type="checkbox"/> 連動装置____個 <input type="checkbox"/> 制御専用煙感知器____個	
<input type="checkbox"/> 通路誘導灯の補完		<input type="checkbox"/> 高輝度蓄光式誘導標識・ <input type="checkbox"/> 光を発する帯状の表示・ <input type="checkbox"/> その他____		
非常電源の容量		<input type="checkbox"/> 2 0 分間・ <input type="checkbox"/> 6 0 分間		
備考				

備考 1 項目中の□欄は該当するものを√印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

備考 2 その他有効距離は、省令第 28 条の 3 第 2 項第 2 号による場合の当該有効距離と個数を記入すること。

別記様式 2 2

排煙設備概要表

方 式		<input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 機械 (<input type="checkbox"/> 吸引排煙 <input type="checkbox"/> 加圧防排煙)	
項 目			
排 煙 機	設 置 位 置	_____ 階 _____	
	機械室の構造	壁 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 天 井 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 開口部 <input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 不燃	
	排 出 量	_____ m ³ / m i n	
	非 常 電 源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 燃料電池設備	
排 煙 口	大 き さ	_____ m × _____ m	
	設 置 位 置	<input type="checkbox"/> 天井面 <input type="checkbox"/> 天井直下 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	防煙区画の構造等	排煙区画面積 最大 _____ m ² 排煙区画の構造 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	
風 道 等	風道構造	<input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	
	区画ダンパー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 : 種別	
給 気 機	設 置 位 置	_____ 階 _____	
	機械室の構造	壁 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 天 井 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 開口部 <input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 不燃	
	給 気 量	_____ m ³ / m i n	
	非 常 電 源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 燃料電池設備	
	起動装置	<input type="checkbox"/> 自動 (感知器連動)	
		<input type="checkbox"/> 手動 <input type="checkbox"/> 遠隔操作	
給 気 口	大 き さ	_____ m × _____ m	
	設 置 位 置	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	防煙区画の構造等	排煙区画面積 最大 _____ m ² 排煙区画の構造 <input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 不燃 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	
風 道 等	風道構造	() m × () m	
	区画ダンパー	<input type="checkbox"/> 天井面 <input type="checkbox"/> 天井直下 <input type="checkbox"/> その他 ()	
消防活動拠点		<input type="checkbox"/> 特別避難階段の付室 <input type="checkbox"/> 非常用エレベーターの昇降ロビー <input type="checkbox"/> その他 ()	
特記事項			

備考 項目中□欄は、該当するものを√印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

[illegible]

* 項目中の欄は、該当するものを√印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

別記様式 2 4

無線通信補助設備概要表

項 目						
増幅器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置場所 _____ 型 名 _____ ・ 利 得 _____ d B					
方 式	<input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 共用 (<input type="checkbox"/> 警察用 ・ <input type="checkbox"/> 携帯電話用 ・ <input type="checkbox"/> その他 _____)					
周波数帯域	_____ MHz					
設置方式	<input type="checkbox"/> 漏洩同軸ケーブル ・ <input type="checkbox"/> 漏洩同軸ケーブルと空中線方式 ・ <input type="checkbox"/> 空中線方式					
無線機接続	保護箱 (<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 保護箱の大きさ (mm) _____ × _____ × _____ 許容入力 (設計値) _____ W (連続)					
端子位置	消 防 用	端子設置場所	設 置 個 数	そ の 他	端子設置場所	設 置 個 数
混 合 器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 設置位置 _____ ・ 入力端子数 _____ ・ 挿入損失 _____ d B					
分 配 器	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 型 名 _____ ・ 挿入損失 _____ d B					
同 軸 ケ ー ブ ル	使用長 _____ m ・ 敷設場所 _____ 型 名 _____ ・ 伝送損失 標準 _____ d B / k m 施工方法 <input type="checkbox"/> 電線管工事 <input type="checkbox"/> 露出工事 耐熱措置の方法 _____					
空 中 線	型 名 _____ ・ 設置個数 _____ ・ 利 得 _____ d B 電圧定在波比 _____ MHz にて、 _____					
漏洩同軸ケーブル	使用長 _____ m ・ 設置個数 _____ 型 名 _____ ・ 結合損失 標準 _____ d B 耐熱措置の方法 _____ ・ 伝送損失 標準 _____ d B / k m					
そ の 他	製造会社名 _____ 漏洩同軸ケーブル _____ ・ 空中線 _____ ・ 分配器 _____ ・ 増幅器 _____					

* 項目中の欄は、該当するものを√印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

別記様式 25

簡易自動消火装置概要表

項 目	
種 別	<input type="checkbox"/> フード・ダクト用 <input type="checkbox"/> レンジ用 <input type="checkbox"/> フライヤー用
	<input type="checkbox"/> 下引きダクト用 <input type="checkbox"/> その他
設 置 場 所	() 階
放 出 方 法	<input type="checkbox"/> 固定式 <input type="checkbox"/> 局所放出方式
	設計放出時間 () 秒
制 御 装 置	設置場所 ()
非 常 電 源	<input type="checkbox"/> 有 (種別 ()) <input type="checkbox"/> 無
起 動 装 置	設置場所 ()
	設置高さ [床面からの高さ () m]
	感知部 [()℃ ()個] [()℃ ()個] [()℃ ()個]
	その他 ()
警 報 装 置	作動信号の移報 [移報先 <input type="checkbox"/> 自火報 <input type="checkbox"/> その他 ()]
	設置位置 () 階
	警報の種類 <input type="checkbox"/> ブザー <input type="checkbox"/> その他 ()
貯 蔵 容 器 等	設置場所 ()
	貯蔵消火剤種類 <input type="checkbox"/> 強化液 <input type="checkbox"/> 粉末 <input type="checkbox"/> その他 ()
	貯蔵消火剤容量 () l(kg) × () 本
噴 射 ヘ ッ ド	設置位置 ()
	個数 () 個
連 動 機 構	フード部分 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	室内部分 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	ガ ス 遮 断 弁 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 [使用ガス <input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> L P G]
	ダンパー <input type="checkbox"/> 有 設置場所 () 個数 () <input type="checkbox"/> 無
備 考	

* 項目中の欄は、該当するものを√印で、() 部分には該当する内容を記入すること。

年 月 日

住 所
申請者 (電話)
氏 名

対象物	所在地				
	名 称			用途	
	規 模	地上 階	建築面積	m ²	
		造 地下 階	延べ面積	m ²	
適用を受けようとする 消防用設備等及び内容					
適用を受けようとする 対 象 物 の 範 囲					
理 由					
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄			

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあってはその名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印欄は記入しないこと。
- 4 当該対象物の案内図、平面図を添付すること。

別記様式 27

相模原市指令（ ）第 号
年 月 日

消防用設備等特例適用承認通知書

殿

相模原市消防長（消防署長）

年 月 日付けで申請のあった、消防法施行令第32条の規定に係る
特例の適用については、下記のとおり承認しましたので通知します。

記

対 象 物	所 在 地				
	名 称				
	規 模	造	地上 階	建築面積	m ²
			地下 階	延べ面積	m ²
特例を適用する消防用 設 備 等 及 び 内 容					
特 例 を 適 用 す る 対 象 物 の 範 囲					
承 認 条 件					

第2 消防用設備等又は特殊消防用設備等の届出等に関する運用基準

1 消防用設備等又は特殊消防用設備等に係る軽微な工事に関する運用

工事整備対象設備等の着工届、消防用設備等工事計画書並びに消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届及び消防検査については、消防用設備等又は特殊消防用設備等（以下「消防用設備等」という。）を新たに設置する場合及び既存の消防用設備等の増設、改造等を行う場合を対象としているところであるが、当該消防用設備等に係る工事の区分、内容等に応じ、次のとおり運用することとする。

(1) 消防用設備等に係る工事の区分

ア 新設

防火対象物（新築のものを含む。）に従前設けられていない消防用設備等を新たに設けることをいう（建物を新たに建築する場合に当該防火対象物の用途、規模等に応じて義務付けられた消防用設備等を設置する場合、既存の防火対象物を増築することにより設置義務が生じた消防用設備等を設置する等の場合が該当する。）。

イ 増設

防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の一部を付加することをいう（増築等に伴い当該部分に配管を延長しスプリンクラーヘッドを設置する、感知器を設置する等の場合が該当する。）。

ウ 移設

防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の全部又は一部の設置位置を変えることをいう（改築、修繕、模様替え等に伴い、屋内消火栓の設置位置を変える、感知器の設置位置を変える等の場合が該当する。）。

エ 取替え

防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の一部を既設のものと同等の種類、機能・性能等を有するものに交換することをいう（故障、劣化等した感知器を同一の種別感度のものと交換する。作動したスプリンクラーヘッドを交換する。屋内消火栓の消防用ホースを同一の口径のものと交換する等の場合が該当する。）。

オ 改造

防火対象物に設置されている消防用設備等について、その構成機器・装置等の一部を付加若しくは交換し、又は取り外して消防用設備等の構成、機能・性能等を変えることをいい、「取換え」に該当するものを除く（1号消火栓を易操作性1号消火栓にする、P型受信機をR型受信機に取り替える等の場合が該当する。）。

カ 補修

防火対象物に設置されている消防用設備等について、変形、損傷、故障箇所などを元の状態またはこれと同等の構成、機能、性能等を有する状態に修復することをいう（ヒューズの交換、消火栓箱・ホース格納箱等の塗装を塗り直す等が該当する。）。

キ 撤去

防火対象物に設置されている消防用設備等について、その全部を当該防火対象物から取り外すことをいう（改築、用途変更等により、設置義務のかからなくなった消防用設備を取り外す、防火対象物を取り壊す際に消防用設備等を取り外す

等の場合が該当する。))。

2 工事整備対象設備等着工届

法第 17 条の 14 の規定に基づく工事整備対象設備等の着工届は、新設、増設、移設、取替え及び改造に該当する工事について必要とする。◆

ただし、増設、移設、及び取替えに該当する工事のうち、別表 1 に掲げる軽微な工事に該当するものにあつては、次により取り扱うことにより、着工届を必要としないことができるものとする。また、軽微な工事と「補修」以外の工事を同時に行う場合には、着工届を必要とする。

- (1) 政令第 36 条の 2 第 1 項に掲げる工事については、着工届の有無にかかわらず、当該消防用設備等に係る甲種特類又は甲種消防設備士が行うこと。
- (2) 甲種特類又は甲種消防設備士は、軽微な工事を実施した場合においても、当該工事の内容を記録するとともに、当該消防用設備等に係る試験結果報告書、図書（設計書、仕様書、計算書、系統図、配管・配線図、平面図、立面図、断面図等）及び現場の状況を補足する写真、試験データ等を作成・整備し、防火対象物の関係者に提出すること。
- (3) 防火対象物の関係者は、消防用設備等の修理、整備等の経過一覧表に所要の事項を記録するとともに、消防法施行規則第 31 条の 4 第 2 項に規定する維持台帳に所要の書類を添付して保存し、査察時等に提示できるようにしておくこと。

3 消防用設備等工事計画書

第 4 章第 1 工事整備対象設備等着工届出書、消防用設備等工事計画書、消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書、消防用設備等特例適用申請書の添付書類等 2 の規定に基づく工事計画書は、新設、増設、移設、取替え及び改造に該当する消防用設備等に係る工事について必要とする。ただし、増設、移設、及び取替えに該当する工事のうち、別表 2 に掲げる軽微な工事に該当するものにあつては、工事計画書を必要としないことができるものとする。また、軽微な工事と「補修」以外の工事を同時に行う場合には、工事計画書を提出するよう指導するものとする。

4 消防用設備等の設置届及び消防検査

法第 17 条の 3 の 2 の規定に基づく消防用設備等の設置届及び消防検査は、新設、増設、移設、取替え及び改造に該当する消防用設備等に係る工事について必要とする。

ただし、増設、移設及び取替えに該当する工事のうち、別紙 1 に掲げる軽微な工事に該当するものにあつては、次により取り扱うことができるものとする。

- (1) 軽微な工事にあつても設置届を省略することはできないものであること。
- (2) 軽微な工事に係る消防検査については、設置届に添付された当該消防用設備等に係る試験結果報告書、図書等の確認により消防検査を行うこととし、現場確認を省略することができること。

ただし、軽微な工事と「補修」以外の工事を同時に行う場合を除く。

- (3) 軽微な工事に係る事項については、査察時等の機会をとらえ、維持台帳に編冊された経過一覧表及び試験結果報告書の内容並びに現場の状況を確認し、消防用設備等が適正に設置・維持されていることを確認すること。

5 運用上の留意事項

1 から 4 により運用するにあたっては、次の事項に留意するものとする。

(1) 消防用設備等の撤去については、着工届、工事計画書及び設置届を必要としないものであるが、防火対象物の関係者から事前に情報提供を求めること等により、その実態を把握すること。

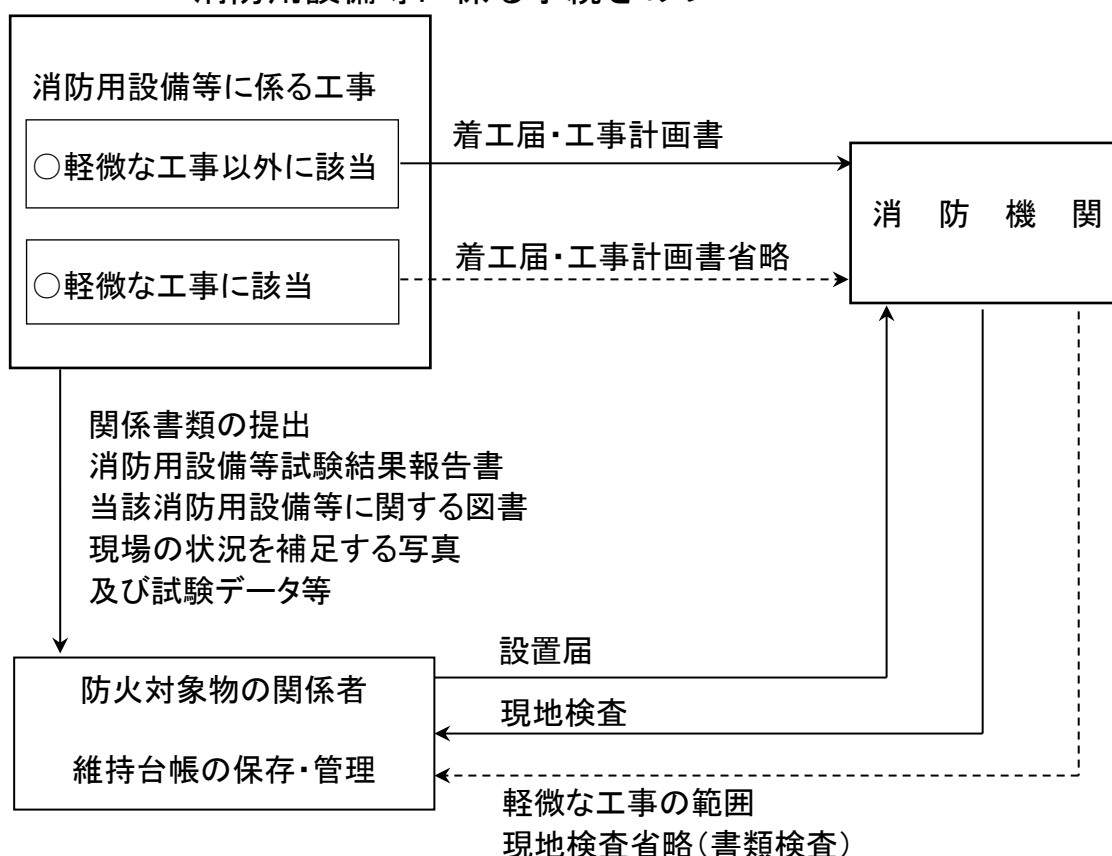
(2) 消防用設備等に係る軽微な工事については、次によること。

ア 消防用設備等に係る軽微な工事については、甲種特類又は甲種消防設備士により適切な工事が行われていることを前提に着工届及び消防検査の簡素化を図ったものであること。

また、工事計画書についても、同様に取り扱い支障ないものとする。

イ 消防用設備等に係る軽微な工事の範囲については、別表 1 及び別表 2 に掲げるとおりであるが、これらに該当するか否か判断が難しいものにあつては、甲種特類又は甲種消防設備士又は工事をしようとするものに対して、事前に相談、協議するよう指導すること。

消防用設備等に係る手続きのフロー



6 消防用設備等に係る届出等に関する運用

(1) 消防用設備等の着工届、工事計画書及び設置届

工事整備対象設備等の着工届、消防用設備等工事計画書並びに消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届については、第 4 章第 1 工事整備対象設備等着工届出書、消防用設備等工事計画書、消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書、消防用設備等特例適用申請書の添付書類等により運用する。

7 維持台帳

第1及び第2により運用を行う場合にあっては、消防用設備等の適切な設置及び維持を担保するため、これまで以上に消防用設備等に係る維持台帳の整備が重要となる。

維持台帳は、消防用設備等ごとに構造、性能等及び設置時から状態（履歴）を明確にしたもので、おおむね次の図書等を編冊（重複する図書、関連する図書等は、合本することができる。）したものである。消防機関においては、事前相談、届出、査察等の機会をとらえ、設計・施工業者、防火対象物の関係者等に対し、維持台帳の重要性、必要な書類、データ等について周知する必要がある。

- 工事整備対象設備等着工届出書の写し
- 消防用設備等工事計画書の写し
- 消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書の写し
- 消防用設備等に係る試験結果報告書
- 消防用設備等（特殊消防用設備等）検査済証
- 消防用設備等特例適用申請書
- 消防用設備等特例適用承認通知書
- 消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書の写し
- 点検票（消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表及び消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表により代替する場合を含む。）
- 消防用設備等の修理、整備等の経過一覧表
- 消防用設備等に関する図書（設計書、仕様書、計算書、系統図、配管・配線図、平面図、立面図、断面図等）
- 現場の状況を補足する写真、試験データ等
- 立入検査結果通知書
- 消防用設備等（特殊消防用設備等）検査結果通知書
- 禁止行為の解除承認申請書
- 防火対象物使用開始届
- 火を使用する設備等の設置届出書
- 急速充電設備・燃料電池発電設備・発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出書
- 少量危険物・指定可燃物取扱開始（廃止）届出書
- 防火対象物点検結果報告書、防災管理点検結果報告書
- 防火（防災）管理者選任（解任）届出書
政令第4条の2の2第1項第1号の防火対象物にあっては、甲種防火管理者再講習の修了証の写し、統括防火（防災）管理者選任（解任）届出書
- 消防計画作成（変更）届出書、全体についての消防計画作成（変更）届出書
- 回答書の写し
- 通信調査結果通知書

別表 1

軽微な工事の範囲（着工届関係）

消防用設備等の種類	増 設	移 設	取替え
屋内消火栓設備 屋外消火栓設備	消火栓箱の増設で、既設と同種類のものが2基以下の場合、かつ、加圧送水装置等の性能（吐出量又は揚程）、配管サイズ及び警戒範囲に影響を及ぼさない場合	消火栓箱の移設で、同一の警戒範囲内での移設	加圧送水装置を除く構成部品
スプリンクラー設備	1 ヘッドの増設で、次のすべてに該当する場合 （1）既設と同種類のものが5個以下の場合、かつ、散水障害がない場合 （2）加圧送水装置等の性能又は配管サイズに影響ない場合 2 補助散水栓箱で、既設と同種類のもの2個以下の場合	1 ヘッドの移設で、数が5個以下の場合、かつ、防護範囲が変わらない場合 2 補助散水栓箱の移設で、同一警戒範囲内の場合	加圧送水装置、減圧弁、圧力調整弁及び一斉開放弁を除く構成部品
共同住宅用 スプリンクラー設備	上記1のとおり	上記1のとおり	上記1のとおり
水噴霧消火設備	ヘッドの増設で、次のすべてに該当する場合 1 既設と同種類のものが、一の選択弁において5個以下の場合 2 加圧送水装置等の性能配管サイズに影響ない場合	1 ヘッドの移設で、一の選択弁において2個以下の場合 2 手動起動装置の移設で、同一放射区画内の場合、かつ、操作性に影響のない場合	加圧送水装置、減圧弁、圧力調整弁及び一斉開放弁を除く構成部品
泡消火設備	ヘッドの増設で、次のすべてに該当する場合 1 既設と同種類のものが、一の選択弁において5個以下の場合 2 加圧送水装置等の性能、配管サイズ、泡混合装置、泡消火剤貯蔵量等の能力に影響がない場合	1 ヘッドの移設で、一の選択弁において5個以下の場合、かつ、警戒区域の変更のない範囲 2 手動起動装置の移設で、同一放射区画内の場合、かつ、操作性に影響のない場合に限る。	加圧送水装置、泡消火剤混合装置、減圧弁及び圧力調整弁を除く構成部品
不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備	1 ヘッド、配管（選択弁の二次側に限る）の増設で、次のすべてに該当する場合 （1）既設と同種類のものが5個以下の場合 （2）薬剤量、放射濃度、配管のサイズ等に影響がない場合 2 ノズルの増設で、次のすべてに該当する場合 （1）既設と同種類のものが5個以下の場合 （2）薬剤量、放射濃度、配管のサイズ等に影響がない場合 3 移動式の消火設備の増設で、既設と同種類のものを同一室内に設置する場合 4 制御盤、操作盤等の電気機器、起動用ガス容器、操作管、手動起動装置、火災感知器放出表示灯、スピーカー、ダンパー閉鎖装置又はダンパー復旧装置の増設で、既設と同種類のものを同一室内に設置する場合、かつ、電源容量に影響がない場合	1 ヘッド、配管（選択弁の二次側に限る）の移設で、ヘッドの数が5個以下の場合、かつ、で放射区域の変更のない場合 2 ノズルの移設で、5個以下での場合、かつ、放射区域の変更のない場合 3 移動式の消火設備の移設で、同一室内の場合 4 制御盤、操作盤等の電気機器、起動用ガス容器、操作管、手動起動装置、火災感知器放出表示灯、スピーカー、ダンパー閉鎖装置又はダンパー復旧装置で同一室内の場合、かつ、電源容量に影響がない場合	すべての構成部品で、放射区域に変更のないもの
パッケージ型消火設備 パッケージ型 自動消火設備	該当なし	該当なし	該当なし

別表1 軽微な工事の範囲（着工届関係）

消防用設備等の種類	増 設	移 設	取 替 え
自動火災報知設備	1 感知器の増設で、既設と同種類のものが10個以下の場合で、かつ、警戒区域の変更がない場合 2 発信機、ベル又は表示灯の増設で、既設と同種類のものを同一警戒区域内に設置する場合	1 感知器の移設で、10個以下の場合かつ警戒区域の変更がない場合 2 発信機、ベル又は表示灯の移設で、同一警戒区域内の場合	1 感知器で10個以下の場合 2 受信機及び中継器で7回線を超えるものを除く 3 発信機、ベル又は表示灯
共同住宅用 自動火災報知設備	1 感知器の増設で、既設と同種類のものが5個以下の場合 2 スピーカーの増設で、既設と同種類のものが5個以下の場合で、かつ、同一報知区域内の場合	1 感知器の移設で、既設と同種類のものが5個以下の場合 2 スピーカーの移設で、既設と同種類のものが5個以下の場合で、かつ、同一報知区域内の場合	1 感知器で5個以下の場合 2 スピーカーで5個以下の場合
住戸用 自動火災報知設備	感知器の増設で、既設と同種類のものが5個以下の場合	感知器の移設で、既設と同種類のものが5個以下の場合	感知器で5個以下の場合
特定小規模施設用 自動火災報知設備 （平成16年5月31日消防庁告示第14号に定めるもの）	感知器の増設で、既設と同種類のものが3個又は全体の半数以下のいずれか少ない方の場合	感知器の移設で、既設と同種類のものが3個又は全体の半数以下のいずれか少ない方の場合	感知器で3個又は全体の半数以下のいずれか少ない方の場合
ガス漏れ火災警報設備	検知器の増設で、次のすべてに該当する場合 1 既設と同種類のものが5個以下の場合 2 警戒区域の変更がない場合	検知器の移設で、5個以下の場合、かつ、警戒区域の変更がない場合	受信機以外
避難器具	該当なし	本体又は取付金具の移設で、同一階の場合、かつ、設置時と同じ施工方法の場合	1 標識 2 本体・取付金具で、設置時と同じ施工方法の場合

※軽微な工事に該当する増設・移設・取替えの工事を同時に行う場合も軽微な工事に該当すること。

別表2

軽微な工事の範囲（工事計画書関係）

消防用設備等の種類	増 設	移 設	取 替 え
漏電火災警報器	該当なし	変流器の移設で、同一警戒電路ないのもの	すべての構成部品で、型式に変更がないもの
非常警報設備 （非常ベル） （自動式サイレン） 【共同住宅用含む】	音響装置、起動装置又は表示灯の増設で、次のすべてに該当する場合 1 既設と同種類のもの 2 同一階の範囲に増設する場合	音響装置、起動装置又は表示灯の移設で、同一階の範囲の場合	音響装置、起動装置又は表示灯
非常警報設備 （放送設備）	1 起動装置、通話装置（非常電話を含む）又は表示灯の増設で、次のすべてに該当する場合 （1）既設と同種類のもの （2）同一報知区域内に増設する場合 2 スピーカーの増設で、次のすべてに該当する場合 （1）既設と同種類のもの （2）5個以下の場合	1 起動装置、通話装置（非常電話を含む）又は表示灯の移設で、同一報知区域内のもの 2 スピーカーの移設のうち、5個以下の場合で、かつ、放送区域の変更がない場合	1 増幅器、操作部又は遠隔操作器の取替えて5回線以下の場合 2 起動装置、通話装置（非常電話を含む）又は表示灯の取替え 3 スピーカーの取替えて、5個以下の場合
避難器具（着工届に該当しないもの）	該当なし	本体・取付金具の移設で、同一階の場合、かつ、設置時と同じ施工方法の場合	1 標識の取替え 2 本体・取付金具の取替えて、設置時と同じ施工方法の場合
誘導灯及び誘導標識	5個以下の増設の場合	5個以下で、同一室内での移設の場合	すべての構成部品で、区分及び機能に変更がないもの
排 煙 設 備	1 防煙区画の増設で、排煙機及び給気機の能力に影響がない場合 2 排煙口、給気口及び風道の増設で排煙機及び給気機の能力に影響がない場合 3 手動起動装置の増設で、操作性に影響がない場合 4 自動起動装置の増設で、既設と同種類の場合	1 排煙口、給気口及び風道の移設で、排煙機及び給気機の能力に影響がない場合 2 手動起動装置の移設で、同一防煙区画内の場合、かつ、操作性に影響がない場合 3 自動起動装置の移設で、同一防煙区画内の場合、かつ、既設と同種類の場合	排煙機及び給気機を除く構成部品
連結散水設備	ヘッドの増設で、次のすべてに該当する場合 1 一の送水区域において5個以下で、散水障害がない場合 2 送水区域に変更のない範囲である場合 3 既設と同種類の場合 4 加圧送水装置の性能、配管のサイズ等に影響がない場合	ヘッドの移設のうち、一の送水区域において5個以下の場合で、かつ、送水区域に変更のない範囲である場合	加圧送水装置、減圧弁、圧力調整弁及び一斉開放弁を除く構成部品で同種のもの
連結送水管 【共同住宅用含む】	該当なし	該当なし	加圧送水装置、減圧弁及び圧力調整弁を除く構成部品で同種類のものの取替え
非常コンセント設備 【共同住宅用含む】	該当なし	該当なし	すべての構成部品の取替え
無線通信補助設備	該当なし	該当なし	増幅器を除くすべての構成部品で、方式、周波数帯域及び設置方式に変更がないものの取替え

※軽微な工事に該当する増設・移設・取替えの工事を同時に行う場合も軽微な工事に該当すること。